

例 養護・訓練～歩行状態等チェックリスト(保有する視力を活用することができる生徒用)

対象生徒名()両眼視力程度() 眼疾()

評価年月日(平成 年 月 日) 天候状況(晴れ、曇り) 評価者 鈴木重男

1 視力活用の程度

(1) 道路環境構成物の認識

- ア 建物:建物の大きさ()、認識した距離(m以上)
- イ 垣根、塀、柵、フェンス:ガイドラインとしての活用:(可能 不可能)
- ウ 電柱:(認識可能 m 認識不可能)
- エ 電話ボックス:(認識可能 m 認識不可能)
- オ 歩道と車道の境目の白い線の活用:(可能 不可能)
- カ 歩道帯の白い線の活用:(可能 不可能)
- キ 向かい側の信号の活用:(可能 不可能)
- ク バス停留所:(認識可能 m 認識不可能)
- ケ 道路標識ポール:(認識可能 m 認識不可能)

(2) 通行者の流れの理解

- ア 歩道通行者の追従:(可能 不可能)
- イ 交差点通行者の理解:(可能 不可能)

2 読図能力の把握と評価

(1) 地域

2番通りー3番通りー12丁目通りー13丁目通りブロック内地図

学校~12丁目通り~12丁目3番通交差点~12丁目通り3本目右折~ひかり幼稚園右折~3番通り右折~12丁目3番通交差点左折~12丁目通り~学校

(2) 評価

- ・地図と実況との対応(できる できない)
- ・道路環境構成の理解(理解している 理解していない)
- ・概念指導の必要性の有無 (有 無)
- ・障害物のない歩道の1分間歩行速度(約 m/1min.)

3 交差点横断の把握と評価

- ・車道との境目の定位(理解している 理解していない)
- ・向かい側の信号の認識(視力で認識できる[車両用信号、歩行者用信号] できない)
- ・停車している車の保有する視力での判断(正確である 不正確である)

4 課題と対応

○保有する視覚の活用状況に関して
○読図・環境構成理解に関して
○交差点横断、歩行意欲、その他に関して

